

JAISE: Japan Association for International Student Education

留学生教育学会

Newsletter 第53号 2018年3月

事務局: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 6階

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会内

TEL: 03-3378-9601 FAX: 03-3378-9625 e-mail: office@jaise.org

[ホームページ <http://www.jaise.org>]

I. 2017年度の活動報告

会長 近藤佐知彦(大阪大学)

2020年のオリンピックイヤーを目標年次として留学生30万人計画が引き続いて取り組まれています。専門職大学の設置、都市部大学での学生数抑制・定員管理の厳格化など、大学や高等教育機関を巡る新たな動きが顕在化してきました。また最近では新聞や放送などで、日本語学校などで学ぶアジアからの留学生の質などが問われるようにもなっており、受入審査の厳格化や留学生受入機関の格付けも導入されそうな勢いです。昨今の「留学生教育」の現場では、様々な思惑や期待、社会問題へのソリューションを求める動き、そして国家的目標に向けて一層の努力など、これまでも増してさまざまなトピックが交錯してきています。また先の総選挙を機に、待機児童問題とともに、高等教育の無償化などが社会的アジェンダとしてとりあげられるようになってきました。近藤としては、高等教育無償化論議も我々の仕事に影響を与えそうな予感をもっています。仮に自国民に対して無償化が実現されれば、留学生に対するフルコストポリシーが導入されることも十分に考えられます。留学交流の活性化のためには、今まで視野に入っていなかった様々な動きにもアンテナを張り巡らせておく必要がありそうです。

留学生教育は平和と繁栄とを前提としたビジネスです。世界と日本との共存や平和、そして繁栄の礎を築く専門家集団として、留学生教育学会は会員の職種や所属機関の別、それぞれの立場を超えて意見を取りまとめ、大同団結を実現させるプラットフォームとなりえます。若年労働力不足や30万人達成、また日本人の若者のグローバル化など様々な社会問題が山積しています。これらの社会のニーズを適確にくみ取り、会員間に蓄積された経験を活かしながら、「留学生教育」「留学交流」に関する様々な知見を、パッケージとして社会に還元していくことを学会の使命だと感じています。今後は海外の学術動向や類似組織との連携なども視野に入れながら、社会と会員にとって「お役に立つ」組織として運営を続けていく所存です。

2018年が学会と会員のみなさまにとって明るい年になることを心より願っております。

(1) 研究大会開催について

第22回研究大会は2部構成で実施いたしました。第1部はUMAP（アジア太平洋大学交流機構）と共同主催で2017年8月18日（金）・19日（土）の2日間、東洋大学で開催しました。

第2部は日本電子専門学校で9月2日（土）に開催しました。（詳細後述）。

(2) 学会誌『留学生教育』について

編集委員会（編集委員長 松見法男先生）のもと、査読委員を充実させ、より質の高い学会誌を目指しました。今回不採択になった原稿も次回は是非再挑戦して頂きたいと思います。（詳細後述）。

II. JAISE 総会のご報告

8月19日（土）に留学生教育学会総会を開催し、以下の審議事項について承認されましたことをご報告いたします。

- 1.2016 年度事業報告
- 2.2016 年度収支報告
- 3.2017 年度事業計画
- 4.2017 年度収支計画
- 5.2017・2018 年度役員について

III. 第22回留学生教育学会研究大会総括

〔第一部〕

実行委員長 芦沢真五（東洋大学）

今年の大会は二部制にして、二つの日程で開催されました。〔第一部〕は、8月18日（金）および8月19日（土）に、「アジア太平洋における学生流動化と学生支援の新潮流と将来像」をテーマとする国際フォーラムおよびワークショップを開催しました。この国際フォーラムはUMAP 国際事務局および東洋大学と合同で実施したもので、海外留学がもたらすインパクトや留学成果について議論を深めました。冒頭、来賓として文部科学省高等教育局学生・留学生課長の井上論一氏よりご挨拶をいただいた後、アメリカ、オーストラリア、カナダからの招へいした以下のゲストスピーカーに基調講演をいただきました。

① “Analyzing Big Data in Student Mobility”

Dr. Christine Farrugia, Deputy Head of Research, Institute of International Education (IIE)

② “Quantitative Development and Quality Enhancement in Mobility in Asia and the Pacific” Prof. Christopher Ziguras, President, International Education Association of Australia (IEAA)

③ “Learning Beyond Borders: National Agenda for Inspiring Mobility”

Ms. Jacquelyn Hoult, Director, Communications, Canadian Bureau for International Education (CBIE)

これらの講演に続き、国内ゲストおよびUMAPの各国ゲストを交えたパネルを実施し、アジア太平洋地域における質保証をともなった学生交流の推進のための議論を展開しました。

8月19日（土）午前中に実施したワークショップでは、UMAPの参加大学と未参加大学がプログラムの活用方法等について情報交換や意見交換が出来る機会となりました。

また、同日午後には学会員を中心とする3つの分科会がおこなわれ、活発な議論がおこなわれた。今年の大会では3つの分科会の一つを英語での発表にあて、海外からのゲストを交えた研究発表の機会がもてたことは有意義であったと考えます。

二日間にわたって多数の参加を得て活発な意見交換を行うことができました。学会関係者、UMAP 国際事務局関係者、さらに協力機関の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

<第一部の参加者数>

~~~~~

8/18（金）フォーラム 約181名  
 （内、JAISE側73名、UMAP側108名）

8/19（土）ワークショップ他 約126名  
 （内、JAISE側70名、UMAP側56名）

~~~~~

〔第二部〕

実行副委員長 寺脇保（日本電子専門学校）
第22回JAISE（留学生教育学会）年次大会第2部は新宿区大久保に位置する日本電子専門学校で開催しました。

午前の部は2つのワークショッププログラムが企画され、「外国人留学生の就職支援の取り組み」として日本語教育機関・専門学校分科会を中心に、東京工科自動車大学校校長の佐藤康夫様（「留学生の就職活動・実績についての事例報告」）、アカデミー・オブ・ランゲージアーツ講師の浅見一郎様（「会話コミュニケーション教育と就職支援」）から事例報告がありました。また企業側からみた留学生の就職状況等に関してJETRO 総括審議役の田中一史様をお招きし「我が国企業の海外展開と外国人留学生の活用について」をテーマにお話しいただきました。参加者は100名を超える盛況で途中、座席が足りず追加するほどでした。

留学生担当教職員分科会で企画したワークショップ「留学生教育を活かす多様な学内外のリソース」では大阪大学教授の西口浩一様（地域リソースの活用ケース「竹の子にほんご交流会」）、岡山大学講師の藤本真澄様（「留学生の活用についてL-café」）から各取り組みの報告があり、全体協議でも積極的な意見交換がありました。また今回は新たな試みとして昼休みの時間を利用してポスター掲示による6件の事例発表、機関会員によるブース出展などを実施しました。

午後からのセッションでは「第2言語教育の理論と実践」「学生支援とキャンパスのグローバル化」「多様な留学生教育の現場より」をトピックとした3会場に分け、合計15件の会員による研究発表が行われました。各会場とも積極的な質疑応答、議論が繰り広げられ、最後にメイン会場にて各会場の座長から報告がありました。事例発表は大学の研究者が中心でありましたが、午前中のワークショップに引き続き参加された専門学校・日本語学校関係者も大いに刺激を受けたことと思います。

第2部の参加総数は129名でした。年次大会が盛会に終わりましたことを参加者の皆様にご報告するとともに感謝申し上げます。

VI. 事務局便り

1. 年会費納入のお願い

今年度年会費につきまして、請求書が同封されている方で、大学名等によりすでにご入金いただいている場合は申し訳ございませんがお手数でも事務局（office@jaise.org）までご一報くださいますようお願いいたします。

なお、会則により2年間未納の場合は翌年度自動退会となりますのでご注意ください。

IV. 奨励賞・功労賞・優秀論文選考報告

この賞は、前会長の都河明子氏が本学会の発展のため、また会員増のために、ご自身で100万円を寄付し、2005年に設立したものです。

2017年度奨励賞・功労賞・優秀論文賞の選考結果は次の通りです。

■奨励賞受賞者

藤 美帆 氏（広島修道大学）

■功労賞受賞者

受賞者なし

■優秀論文賞受賞者

岡崎 渉氏（兵庫教育大学）

（論文発刊時所属：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院）

「上級日本語学習者による独話的発話の使用実態」（研究ノート）

V. 投稿論文締切日にご注意ください

学会誌『留学生教育』の投稿論文締切日は4月30日です。

『留学生教育』第23号（2018年12月発刊予定）の投稿論文の受け付け開始は4月1日、締切日は4月30日です。これは、審査過程に時間的な余裕をもたせ、投稿者による論文改稿がより充実したものとなるようにするためです。なお、論文を投稿される場合は、必ず本学会ホームページにて、最新の投稿規定・執筆要領をご確認ください。必要な書式をダウンロードして執筆・投稿いただきますよう、お願いいたします。皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

『留学生教育』編集委員会

2. JAISE メーリングリストに関する注意

昨年 4 月よりシステムを変更して発信している JAISE メーリングリストですが、毎回送信エラーが発生しています。所属先変更で登録したアドレスがすでに使われていないケースや受信側サーバの設定など原因は様々ですが、未だメールが届いていない場合などは事務局までお知らせください。迷惑メールとして処理されている場合もございますので、いま一度ご確認ください。

送信先メールアドレス ml@jaise.org

[ご注意ください]

事前にお知らせいただいているメールアドレス以外からの投稿はできません。

ML からのメールに返信すると全会員に配信されます。

ファイル添付や HTML 形式での送信はできません。テキスト形式で配信ください。

3. 会員数

2018 年 3 月 1 日現在 482 人 【一般 346、学生 80、海外 28、機関 28】

4. 新入会員のお知らせ [2017 年 6 月～入会順] (敬称略)

○一般会員		Delakorda	Kawashima	山口県立大学
青木 由香	東海大学	副田恵理子	藤女子大学	
半沢千恵美	横浜国立大学	赤松 茂利	早稲田大学	
岩瀬 貴幸	株式会社イーパス	鈴木 綾乃	横浜市立大学	
長崎 清美	東京外語専門学校, 駒澤大学	二宮 皓	広島大学	
藤田 裕一	朝日大学	大谷 崇	東京福祉大学	
鈴木 穰	上武大学	小幡 浩司	福井大学	
福島 那緒		高濱 愛	東京大学	
矢澤健太郎	千葉商科大学	高岡 邦行	日本工業大学	
香取 真理	青森公立大学	勝田 千絵	神戸市外国語大学	
川上 健一	朝日大学	新島 聡	日本健康医療専門学校	
比留間洋一	星城大学	米澤 昌子	上智大学	
江藤 賢一	学校法人 ISI 学園	小早川裕子	東洋大学	
○海外会員				
徐 吉良	翼留教育科技(上海)有限公司			
○学生会員				
梅田 皓士	拓殖大学大学院	常 笑	広島大学	
張 文青	広島大学大学院	眞谷 国光	早稲田大学	
ジョ ショウ	広島大学大学院	戸室 磨里	東京大学大学院	
王 校偉	広島大学大学院	大野あかね	新潟医療福祉大学	
ジャ ブルブル	広島大学	李 岩	中央大学大学院	
伊 順達	広島大学大学院			